

子どもたちを輝く陽の恵みランド

子どもたちに元気・笑顔・夢を、子育てに安心と喜びを

すべての子どもが地域の温もりに包まれて、心身ともに健やかでたくましく育つことができ、子どもを生み育てたいと願うすべての人が、自分らしい生き方をしつつ、安心と喜びをもって子育てができる社会。そういった社会の実現に向けて、行政、地域、家庭、企業などが一体となって取組みを推進していきます。

本町では「子どもを生み育てやすいまち」を目指し、子どもの健やかな成長を家庭や地域がともに支え合い、安心と喜びをもって子育てができる社会の実現のため、平成21年度を目標年度に定めた5年間の「前期行動計画」を実施しました。その実施内容について報告します。

なお、平成22年度から新たに、平成26年度を目標年度にした「後期行動計画」を策定し、実施していきます。



行動計画の110事業について、平成21年度の進捗状況は76%の事業が順調に進捗しています。

具体的取組	進捗状況別事業数				合計
	◎	○	△	×	
1 地域における子育て支援を推進する	26	9	2	1	38
2 子どもと母親の健康を確保する	13	2	1	0	16
3 子どもの健やかな成長を導く教育環境を整備する	16	1	1	0	18
4 子育てを支援する生活環境を整える	5	4	0	1	10
5 職業生活と家庭生活の両立を支援する	2	0	0	0	2
6 子どもなどの安全を確保する	7	1	2	0	10
7 要保護児童への対応などきめ細かな取組みを推進する	15	1	0	0	16
合計	84	18	6	2	110

◎順調/計画目標達成に向けて、順調に進捗しているもの。 ○やや遅れ/計画目標達成に向けて、やや遅れが見受けられるもの。 △遅れ/計画目標達成に向けて、遅れが見受けられるもの。 ×未実施/事業実績が未実施のもの。

特定事業の実施状況(平成21年度)

目標設定項目	平成16年度 実施事業量など	平成21年度 実施事業量など	平成21年度 目標事業量など	進捗状況
ファミリーサポートセンターの実施個所数、協力会員数	1カ所 89人	1カ所 153人	1カ所 150人	協力会員数は徐々に増えてきて、目標に達しました
放課後児童健全育成事業(学童保育)実施個所数、定員数	4カ所 248人	6カ所 436人	5カ所 394人	目標に達しました
ショートステイ事業の実施個所数、定員数	1カ所 2人	2カ所 2人	2カ所 2人	目標に達しました
トワイライトステイ事業の実施個所数、定員数	1カ所 2人	2カ所 2人	2カ所 2人	目標に達しました
施設型病後児保育事業の実施個所数、定員数	1カ所 3人	1カ所 3人	1カ所 3人	現状維持
一時保育事業の実施個所数、定員数	1カ所 10人	2カ所 20人	2カ所 20人	目標に達しました
つどいの広場事業の開設個所数	1カ所	1カ所	1カ所	現状維持
地域子育て支援センター設置個所数	2カ所	2カ所	2カ所	現状維持
通常保育事業の定員数(入所児童数)	790人	966人	940人	目標に達しましたが、待機児童解消のため引き続き定員増を図ります
延長保育事業の実施個所数、定員数	7カ所 52人	8カ所 80人	8カ所 110人	実施個所数は目標に達しました。引き続き定員増を図ります
休日保育事業の実施個所数、定員数	-	-	1カ所 10人	引き続き1カ所の保育所での実施を検討します

1. 地域における子育て支援を推進する

主な取組み
○放課後児童健全育成事業(学童保育)：大規模クラブと
なっていた「武蔵ヶ丘小学校学童保育元気クラブ」と、「菊陽中部小学校すくすくクラブ」の分割のため、施設整備を実施しました。

○つどいの広場事業：延べ利用人数7,851人。
○病後児保育事業：延べ利用者数405人(19年度536人)、登録者数109人(20年度148人)。
○子育て支援拠点事業：菊陽町地域子育て支援センター(白鈴園内)、ミニキャロットクラブ(光の森キャロット保育園内)、つどいの広場ピース(ふれあい交流・福祉支援センター内)の3カ所を中心に、子育て支援に関するさまざまな催しや活動を実施しました。

今後の課題と方向性
平成22年度に後期行動計画を策定し、「子育て支援拠点施設」の整備を行い、子育て家庭へのきめ細かなサービスを効果的・効率的に提供できるように取り組んでいきます。

7. 要保護児童への対応などきめ細かな取組みを推進する

主な取組み
○児童虐待防止対策：要保護児童対策地域協議会代表者会議を、10月に開催しました。個別ケース検討会議は必要に応じて随時開催しました。
○児童虐待に対する保護・支援：児童相談所、福祉事務所および関係機関と連携を図り、見守り支援や保護を実施しています。

○ひとり親家庭への経済的支援：ひとり親家庭への医療費助成として、607万円(3,355件)を支給しました。父子家庭も、5世帯の新規受給者登録をしました。
○小・中学校への特別支援指導助手の配置：町内小・中学校に計16人配置し、学習の充実を図りました。

今後の課題と方向性
児童虐待は、虐待発生の予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアに至るまでの総合的な支援が必要で、「要保護児童対策地域協議会」の活動により、児童虐待防止策をさらに強固なものにしていきます。

学童保育は、現在ふれあいの森研修センター内で実施している菊陽北小学校区の「はらっ子クラブ」の施設整備を検討します。

2. 子どもと母親の健康を確保する

主な取組み
○乳幼児健診の受診率向上の推進により、各健診の受診率は向上しました。

○いきいき子育て相談は、延べ290人と年間出生数501人のうち57.9%の人が利用しています。1歳児相談は、392人の利用があり、対象者516人の76.0%の利用率です。

今後の課題と方向性
○食育の推進：「食」の大切さなどを伝えるために、乳幼児健診、保育所、学校、健康まつり、アグリさんさん講座で食育の推進を行いました。

今後の課題と方向性
母子健康事業の充実を図るとともに、母親の育児不安の解消・緩和につながるための相談体制の強化を進めます。また、「安全安心のいいお産」の適切な普及に努めます。

3. 子どもの健やかな成長を導く教育環境を整備する

主な取組み
○職場体験学習：菊陽・武蔵ヶ丘両中学校で、3～5日間の職場体験を実施しました。
○不登校対策：不登校対策協議会会議を年3回実施し、関係機関との連携および情報の共有を図りました。
○学校施設の整備：武蔵ヶ丘中学校の耐震補強工事が完了しました。

今後の課題と方向性
平成22年度は、環境整備として菊陽中部小学校の改築に係る設計業務を行います。今後も、関係部署が連携を図り、各種情報を共有して、家庭・地域・社会の教育力を高めるよう取り組みます。

4. 子育てを支援する生活環境を整える

主な取組み
○公営住宅建設時の子育て支援施設の整備支援：光団地建替基本計画で、児童遊園などの子育て支援施設の計画を行いました。
○幅の広い歩道の整備促進：通学路など、歩道の重要性を見極めながら幅の広い歩道の

5. 職業生活と家庭生活の両立を支援する

主な取組み
○男女共同参画社会推進懇話会の活動：会議を7回開催し、「男女共同参画計画」を基に、明るい男女共同参画社会の実現に向けて町民の意識改革の啓発などに努めました。
○男女共同参画さんさんの会の啓発活動：任意19団体、個人会員8人による菊陽町男女共同参画さんさんの会(男性も含む)では、会議の他研修会を3回開催しました。

○放課後児童健全育成事業：「武蔵ヶ丘小学校学童保育第2元気クラブ」の施設建築と、「菊陽中部小学校区のすくすくクラブB」の仮設プレハブ施設を建築し、大規模クラブの解消を行いました。

6. 子どもなどの安全を確保する

今後の課題と方向性
仕事と子育ての両立がスムーズに実現するよう、保育サービスや放課後児童健全育成事業などの充実を図ります。
主な取組み
○交通安全教室の実施：各小学校、保育園の児童生徒や保護者を対象に「安全教室」を実施しました。
○町セーフティパトロールなどによる活動：スクールパトロール隊を組織し、通学路などでの防犯パトロールを推進しました。

○防犯講習の実施：警察署と連携を図り、さまざまな機会を利用して防犯講習会を実施しました。
今後の課題と方向性
子どもを犯罪などの被害から守るため、広報活動を通じて住民の自主防犯活動の促進を図るとともに、地域の防犯パトロール活動がより充実するよう支援に努めていきます。

